

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8年 6月29日	
岩手県知事 達 増 拓 也 殿	
提出者 住 所 岩手県一関市地主町2番29号一関中央ビル102号室 氏 名 朝田建設株式会社 代表取締役 朝 田 豪 電話番号 0191-34-4170	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	朝田建設株式会社 平泉営業所
事業場の所在地	岩手県西磐井郡平泉町平泉字鈴沢4番地の1
計画期間	令和 8年4月1日～令和 9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	土木、建築工事 売上 9億円
③従業員数	43人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場発生 ⇒ 委託処分

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物管理責任者）



常務取締役（廃棄物処理等責任者）



産業廃棄物担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 (コンクリートがら)	がれき類 (アスファルトがら)
	排 出 量	420.19t	1,443.38 t	465.17 t
	(これまでに実施した取組)			
	自ら再生利用は行っていない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 (コンクリートがら)	がれき類 (アスファルトがら)
	排 出 量	340.00t	1,200.00 t	370.00 t
	(今後実施する予定の取組)			
	今後も自ら再生利用する予定はない			

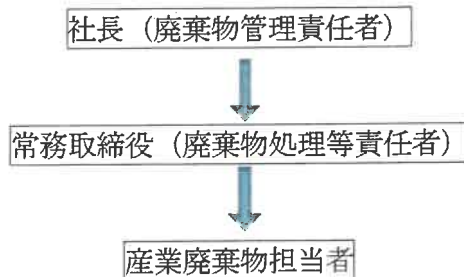
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度（ 7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	繊維くず	がれき類 (がれき)
	排 出 量	23.138t	0.38 t	1.31 t
	(これまでに実施した取組)			
	自ら再生利用は行っていない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	繊維くず	がれき類 (がれき)
	排 出 量	20.00t	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)			
	今後も自ら再生利用する予定はない			

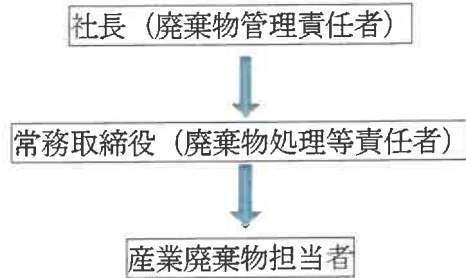
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

③ 現状	【前年度（ 7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯	
	排 出 量	23.138t	0.38 t	t
	(これまでに実施した取組)			
	自ら再生利用は行っていない			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯	
	排 出 量	0.00t	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	今後も自ら再生利用する予定はない			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t		t
	(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t		t
	(今後実施する予定の取組) なし			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（ 7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 (コンクリートがら)	がれき類 (アスファルトがら)
	全 処 理 委 託 量	420.19t	1,443.38 t	465.17 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	420.19t	1,443.38 t	465.17t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 自ら再生予定は行っていない ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（ 7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	がれき
	全 処 理 委 託 量	23.138 t	2.67 t	1.310 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	23.138 t	2.67 t	1.310 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 自ら再生予定は行っていない ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をは かる			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

③ 現状	【前年度（ 7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	繊維くず	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	5.160 t	0.38 t	3.37 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5.160 t	0.38 t	3.37 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 自ら再生予定は行っていない ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

④ 現状	【前年度（ 7年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	蛍光灯		
	全 処 理 委 託 量	0.022 t	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.022 t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 自ら再生予定は行っていない ・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類 (コンクリートがら)	がれき類 (アスファルトがら)
	全 処 理 委 託 量	340.00 t	1,200.00 t	370.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	340.00 t	1,200.00 t	370.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も自ら再生利用する予定はない。 ・ 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する			
※事務処理欄				

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器	がれき類 (がれき)
	全 処 理 委 託 量	20.00 t	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	20.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も自ら再生利用する予定はない。 ・ 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する			
※事務処理欄				

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 合計)

不要物等発生量

有償物量

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	2,369,150 t	1,930,000 t
②+⑥自ら再生利用を行った量	0 t	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t
⑩全処理委託量	2,369,150 t	1,930,000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 t	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2,369,150 t	1,930,000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

自ら直接再生利用する量

②0 t

自ら中間処理する量

④0 t

④のうち熱回収を行う量

⑤0 t

自ら中間処理した後の残さ

⑥0 t

自ら中間処理した後に埋立処分又は海洋投入処分する量

③0 t

③のうち再生利用業者への処理委託量

⑦0 t

⑦のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑧0 t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩2,369,150 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪0 t

排出量

①3,812,530 t

①のうち再生利用業者への処理委託量

⑫3,812,530 t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

)

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接
再生利用する量
0 t
0

⑧ 自ら中間処理した後
再生利用する量
0 t
0

① 排出量
420.190 t
340.000

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量
0 t
0

⑨ 自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分する量
0 t
0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
420.190 t
340.000

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	420.190 t 340.000
②+③自ら再生利用を行った量	0 t 0
⑤自ら熱回収を行った量	0 t 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t 0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 t 0
⑩全処理委託量	420.190 t 340.000
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 t 0
⑫再生利用業者への処理委託量	420.190 t 340.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t 0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 t 0

⑥ 自ら中間処理した
後の残さ
0 t
0

④ 自ら中間処理
する量
0 t
0

⑨ 自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分する量
0 t
0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0 t
0

⑦ 自ら中間処理によ
り減量した量
0 t
0

⑤ ④のうち熱回収
を行う量
0 t
0

⑩ 直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量
420.190 t
340.000

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
0 t
0

⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
0
0

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: がれき類(コンクリートがら))

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量
②
0 t

排出量
①
1,443,380 t
1,200,000

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
0 t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
0 t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	1,443,380 t 1,200,000
②+③自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1,443,380 t 1,200,000
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,443,380 t 1,200,000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 t

自ら中間処理 する量
④
0 t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
0 t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
0 t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
0 t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
0 t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
1,443,380 t 1,200,000

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
1,443,380 t 1,200,000

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
0 t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
0 t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
0 t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: がれき類(アスファルトがら))

有償物量

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量	②
0	t
0	

自ら中間処理した後 再生利用する量	⑧
0	t
0	

排出量	①
465.170	t
370.000	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	③
0	t
0	

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑪
465.1700	t
370.000	

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	465.170 370.000
②・⑧自ら再生利用を行った量	0 0
⑤自ら熱回収を行った量	0 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0
③・④自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0
⑩全処理委託量	465.170 370.000
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 0
⑫再生利用業者への処理委託量	465.170 370.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 0

自ら中間処理 する量	④
0	t
0	

自ら中間処理した 後の残さ	⑥
0	t
0	

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑨
0	t
0	

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫
465.1700	t
370.000	

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬
0	t
0	

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭
0	t
0	

自ら中間処理によ り減量した量	⑦
0	t
0	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	⑩
465.1700	t
370.000	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪
0	t
0	

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用する量
②
0
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
0
t

排出量
①
23,138
20,000
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
0
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
23,130
20,000
t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	23,138 20,000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0 t
⑩全処理委託量	23,138 20,000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	23,138 20,000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 0 t

自ら中間処理 する量
④
0
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
0
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
0
t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
0
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
0
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
0
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
23,138
20,000
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
0
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
0
t